

全国学力・学習状況調査に対する意識の転換を

「全国学力・学習状況調査は6年生が頑張るもの？」
「取りあえずどの学校もやらなければいけないものだから行う？」

【全国学力・学習状況調査の目的】

※義務教育の機会均等と水準の維持向上

- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- ・継続的な検証改善サイクルを確立する。

児童生徒の実態だけでなく、学習指導についても客観的に把握することができます！ 6年生は小学校教育の集大成！！ 1～5年生までの積み上げが重要です！

【全国学力・学習状況調査の問題】

- ※A問題…身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ※B問題…知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など

調査問題には、これから児童生徒が生きる時代に必要な力についてのメッセージが込められています！！

全国学力・学習状況調査を生かす

【まずは調査問題を全員で解いてみましょう】

6年生担任の先生だけでなく、全員で解いてみられると、様々な発見があります。「この問題を解くには、□年生の○〇の学習が分かかってないと解けない。」「資料から読み解く力が大事だ。」・・・など。その気づきを出し合ってみてください。

調査問題を見ると・・・

※6年生だけにに関わるのではなく、それまでの学習の積み重ねを問われていることが分かります。

※求められている学力について実感を持って理解を深めることができます。

※問題を解いてから自校採点や誤答分析をすると、重点的に指導しなければならない課題が見えてきます。（4月の段階では、解説資料に載っている「出題の趣旨」や「解答類型」、「学習指導に当たって」などが大きなヒントとなります。）解説資料は調査当日より下記アドレスからダウンロードできます。

http://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14kaisetsu_shou_kokugo.pdf

【授業研究は自校の弱点単元で行ってみましょう】

これまででは、授業研究を行うとき、子どもたちのよい姿が出やすい単元の授業を見てもらおうとしていたかもしれません。自校分析では、指導しにくいと私たちが感じている内容が、今回弱点として挙がってきていません。ぜひ授業研究は自校の弱点単元で挑戦してみてください。

【誤答分析については別様へ】

【全国学力・学習状況調査
解説資料】



全国学力・学習状況調査を生かした 授業改善PDCAサイクル

4月

今年度の学力向上の視点の共有

全国学力・学習状況調査

調査問題を解く

学力向上策の確認

自校採点

補充・発展

実践

8月下旬

全国学力・学習状況調査結果公表

結果分析
誤答分析

学力向上策の確認

実践

研究授業
(自校の弱点単元で)

12月

到達度確認(島根県学力調査)

島根県学力調査結果公表

学力向上策の評価

補充・発展

3月

次年度の計画